



【学校教育目標】

心豊かにたくましく生きる子供の育成

くめざす児童像>

敬愛 互いの「よさ」を認め、思いやりの心をもつ子

剛健 すすんで心身をきたえ、明るく希望に燃える子

修学 自ら学び考え、全力を尽くす子

人権について親子で話す機会をつくりましょう

12月4日から12月10日までを人権週間と言います。そして、その最後の日、12月10日は、「世界人権デー」とされています。それにちなんで、全国の学校では、毎年、12月のはじめのこの時期に人権週間というのを設けて、人権について集中的に勉強しています。

人権とは、「人は誰もがその人らしく生きていくことができる権利」のことです。しかし、現在も世界のあちこちで、戦争やテロのようなことで、多くの人が死んだり、家族をなくしたりしています。日本でも、毎日のように事故や事件で命を失う等悲しい出来事やあってならないような事件が起っています。身近なことでは、いじめ、差別、虐待・・・といったことがあります。

人は、みんな違います。顔、体の大きさ、皮膚の色、性格、障害のある人、男の子と女の子・・・など。でも、みんな一人一人が、かけがえのない命をもっていて、その人なりに精一杯生きています。人はみな、その人なりに、人として生きる権利をもっているのです。ですから、自分を大切にすることはもちろんですが、同時に、他の人の命や他の人の気持ちも大切にしていかなければなりません。



リュウピー・リュウミー交通安全官任命式

11月1日に4・5・6年生への任命伝達式がありました。(募集の際には大変お世話になりました。)

当日は、南署から西山交通課長様、南交通安全協会から西出会長様にお越しいただき、任命書とプレスレットが送られました。

これは児童を通してご家族の方の飲酒運転撲滅を訴える事業です。
ご協力ありがとうございました。



PTA 資源回収ありがとうございました

11月4日(日)に行われた、今年度2回目の資源回収では、多くの保護者の皆様にお世話になりました。毎回、小中PTAや地区の皆様のご協力を得て実施している資源回収です。今回は時折小雨降る中での実施となりましたが、無事実施することができました。中学生もボランティアとして活躍し、効率よく回収することができました。ありがとうございました。収益は、児童生徒の活動充実のために有効に使わせていただきます。

次回予定は、3月3日(日)に予定しています。



校内器械運動発表会

11月28日(水)5年生による器械運動発表会が行われました。

家庭・地域・学校協議会委員の方や保護者の方にも、ご参観いただき、体育の時間に仕上げたい技を元氣いっぱい披露しました。

限られた体育の授業時間だけの練習や準備でしたが、完成度の高い、とても立派な発表でした。



不審者対応避難訓練

11月13日(火)2校時に、不審者が学校に侵入してきたという設定で、避難訓練が行われました。

侵入時は、各教室の中に待機し、確保された段階で体育館に集合しました。今回は確保できた設定ですが、もし、確保されずに校外へ逃走した場合は、緊急メール連絡により、保護者への引き渡しという事になります。



体育館では、南署員の方から「いか・の・お・す・し」を元にしたお話をいただき、手を捕まれたときの逃げ方などを教えていただきました。



朝礼（11/06）

“Peace begins with a smile.”（マザー・テレサ）

今日のお話は、「あいうえお」の「え」、「笑顔」です。

笑顔は自分自身の意識を前向きにしてくれます。いやな時こそ笑顔を作ることで、苦しい環境を乗り越えることができます。

また、みなさんも知っているように、笑顔は自分だけでなく、周りの人にも良い影響を与えます。世界には、

「君が笑えば、みんなが笑う。みんなが笑えば、君も笑う。」

「笑いなさい。そうすれば世界も貴方と一緒に笑う。」

という言葉があるように、笑顔はあなたの周りを幸せにします。

最初の、“Peace begins with a smile.”を日本語に訳すと、「平和は微笑みから始まる。」となります。皆さんの笑顔で、みなさん自身も、クラスのみんなども、安居小学校の全員も、世界中の人が幸せに平和になるといいですね。

では、笑顔を作ってみましょう。

「イ」の口の形で、「イ———」と伸ばすイメージです。

自然な笑顔のためには歯が見える必要があります。上の歯が6本以上見えていればOKです。8本以上見えると最高です。

今日から顔を洗ったら、鏡に向かって笑いかけてみましょう。毎朝すれば大きな変化に気がきます。笑顔は人を美しくするそうです。

人権集会（12/4）

これから、友達や周りの人のことも大事にする気持ち、「思いやり」についてお話をします。思いやりは言葉や行動に表れますが、今日は言葉についてみんなと一緒に考えてみましょう。

ここにあるボールをみんなが使っている言葉だとします。

- ・とりやすいように投げる。…相手に合わせた言葉で、相手が受け取れる。
- ・届かないように投げる。…相手に届かない。伝わらない。
- ・見ないで違う方向に投げる。…相手は受け取れない。
- ・強く投げる。…受け取れない。怖い。

言葉も一緒です。相手に合わせて、相手が受け取れるように、相手を見て送ってあげないと、相手に受け取ってもらえないし、伝わりません。

私は、小学生の時に、とてもいやなあだ名で年上の子に呼び捨てにされたことがありました。年上の子は軽い気持ちでからかっていていたのですが、私はその時すごく傷つきました。心に何本もの矢が突き刺さったようなつらい気持ちでした。時間がたって突き刺さった言葉の矢は抜けましたが、大人になってもその時刺さった傷跡は、まだ残っています。今でも、ふと思い出すとつらい気持ちになるときがあります。人を傷つけるって、その時だけじゃなく、ずっと残ってしまうときもあるのですね。

こんなふうに、言葉で相手を傷つけてしまうのは「言葉の暴力」と言います。教室では「ちくちく言葉」としてお勉強しているかもしれませんが、安居小学校のみなさんには、相手のことを思っ

て言葉を贈ることのできる、思いやりのある人に育ってほしいと思います。

